

# 日常生活自立支援事業の利用事例



## ア ご自身に関して（性別：女性）

- ・介護度2

## イ 利用を開始した背景（当時の年齢：80歳）

- ・配偶者亡き後、老齢年金を受給しながら賃貸住宅で**独り暮らし**をしている。
- ・預金の払戻しは、キャッシュカードを用いて、近くのコンビニエンスストアにあるATMで行っていたが、身体機能の低下によって**外出することが難しく**なってきた。（**暗証番号を思い出せない**時もあった）
- ・光熱費は口座引落としとしているが、預金通帳の記帳はしておらず、**収支状況を把握できない**ている。
- ・自宅に届く郵便物の文字が小さく、内容を**把握するのに苦慮**している。

➡ **預金の払戻しと、通帳の記帳などを頼みたい。**

## ウ 実際の支援の状況等

- ・支援計画に沿って月に1回生活支援員が訪問し、預金払戻しと通帳記帳を代行しています。
- ・訪問時に生活状況や、お困りごとがないかを確認するとともに、相談に応じています。

